

うえるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・お寺で餅つき、最高！／「3.11 キラクのキロク」
- ・福島県情報 てんこもりTV
- ・宮城県情報 宮城の皆様へ ・ありがとうメッセージ
- ・山形県情報 法律座談会／支援者のつどい／寒河江の日曜日
- ・特派員日記 ・おすすめ情報 ・リレー応援エッセイ
- ・みんなの声 ・ひと休み ・編集部より

第13号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数：4,000部

お寺で餅つき、最高！

この日は、パパも五名参加した。中には山形駅に居る「週末避難支援バスうえるかむ号」で到着し、駆けつけるバもいた。

子どもたちは大きな臼で、棒状の杵を使って、「よいしょ、よいしょ」と一斉にお餅つき。あつあつのお餅が入ったお雑煮は、鶏肉のおだしがしっかり出たおつゆで、大好評だった。

「これ僕がついたおもち? おいしい!」

雪解けの季節が待ち遠しい最近。春を呼ぶ「お寺でお餅つき」イベントが、二月二十五日(土)に山形市木の実町にある真宗大谷派山形教会にて開催された。

前日の快晴とはうらはらに、名残の豪雪とも呼ぶべき激しい雪の日だった。しかしそんな悪天候にもかかわらず、十五組四十六名の福島家族が大集合した。



「三回おかわりしたよ!」
という子どもの声が弾む。お雑煮のほかにも、きなこ、のりまき、山形風の納豆餅も振る舞われた。

広いお寺の中は、滑り台、絵本コーナーも。新聞紙で作った刀でチャンバラごっこも展開され、もはやここは遊園地状態。いろんな年齢の子どもの声が一斉に響き、外の大雪に負けないくらいお寺の中は賑やかになった。

主催である地元の真宗大谷派関係者の方たちは、今後も、「お寺で手巻き寿司」、「お寺でラジオ体操?」など、継続的に企画していく予定である。(Hiprovy)

「3.11 キラクのキロク」市民が撮った震災記録写真パネル展 in 山形

〔同時開催〕山形から被災地へ～活動のキロク～ 開催中です

東日本大震災からもうすぐ1年。この度、『「3.11 キラクのキロク」市民が撮った震災記録写真パネル展 in 山形』と、同時開催として山形県の活動記録写真展をおこなうこととなりました。報道カメラマンとはちょっと視点の違う生活の中での風景と、山形県民の活動を、ぜひ観に来て下さい。

期間：平成24年2月28日(火)～3月11日(日)

9:30～18:00 (28日のみ13:00～18:00)

場所：山形市市民活動支援センター「NPO ギャラリー」(霞城セントラル23階)

入場料：無料

主催：NPO 法人20世紀アーカイブ仙台

つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた



From 福島

郡山から

てんこもりTV発信中



「てんこもりTV」は、「福島県郡山市富久山町の素人集団」と銘打った有志たちによるインターネットテレビ局だ。震災前は、富久山町内の学校紹介など、ローカルな情報を伝えてきた。現在は支援活動の合間を縫って、震災後の生活に密着した録画放送が中心となっている。

昨年十月には、前福島県知事の佐藤栄作久氏へのインタビューを公開した。長時間にわたり、さまざまな問題や課題について、スタッフが質問すると、佐藤氏は丁寧な回答している。また、十二月には、郡山駅前を往来する人々へ、街角インタビューをするようすが公開された。熟慮しながら前向きに生きる人々のようすを伝えている。

そして、今年一月に公開されたのは、横浜市でおこなわれた「脱原発世界大会」の映像だ。小学生の男の子と、てんこもりTV局員の方による発表は強く心に刻まれる。会場にいた人だけでなく、今でもインターネットを通じて、そのメッセージを観ることができるのだ。

「情報を発信する」ことで、町の活性化を追求してきた「てんこもりTV」。今も地域の人々の目線、全国にいる福島の人々に、必要な情報を発信する。 <http://tv024.com/>

From 宮城

message

宮城の皆様へ

冬も、もうすぐ終わりに近づいていますがいかがお過ごしですか。

東日本大震災からもうすぐ一年……。あの日、私の住んでいる地域も津波に呑み込まれました。

汚物とヘドロで道路が黒ずみ、そしてそれを覆い隠すように粉雪が降り続いている光景は今も忘れることができません。

これを見ている皆様の中にも友人や親族を失われた方もいらっしゃるかもしれません。私も叔母を津波で奪われ今も見つかっていません。

時間とは悲しみを受け止める上での良い安定剤です。

少しづつではありますが叔母の死を受け入れ、昇華できる受け皿が私の中ででききました。

そしてこの震災事態の記憶を忘れ去りたという衝動にかられるときがあるので、しかしそれだけは、それだけは忘れずになければいけないことなのです。私たちが自然を甘く見た戒めとして今後その事実を見続けなければ……。

あれから一年経ちます。皆さんはどういった形であの日を迎えるのでしょうか。(・o・)

無事、一歳を迎えた息子へ……

ありがとう



先日、酒田市の天真学園高校から避難者へ寒鯉フェアのお誘いがあり行ってきました。着いた時間が少し遅かったため他の避難者との交流はありませんでしたが、寒鯉汁はもちろろんおにぎりに添えてあるお漬物までとてもおいしく頂きました。

その日、ちょうど一歳になった息子へ学校側で車のおもちやお菓子の誕生日プレゼントを用意してくださいと生徒会長さんが息子の元へ届けてくれました。今の息子には理解できていないかもしれませんが、もう少し大きくなったらたくさんの人たちがお祝いしてくれて幸せな誕生日だった事を教えてあげたいと思います。

一年前には考えもしなかった山形での生活、雪で苦勞はしていますが庄内の方

ちの心の温かさに触れることができた貴重な一日でした。天真学園

高校の皆様、本当にありがとうございます。(酒田市S)



ボラよね新聞報道写真パネル展「我ら原発難民」

開催期間 3月19日～21日
開館時間 9時～17時
会場 銘讓館2番蔵
〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町2-52 野馬追通(社)原町観光協会
TEL 0244-22-2114
FAX 0244-22-2115

同時開催イベント

3月20日 13時～ MJC アンサンブル公開練習
15時～ 朗読会「我ら原発難民」 出演 mica 伊藤 範
みうらひろこ・根本昌幸・若松文太郎などの被災した福島県現代詩人会会員の詩を朗読
16時～ ミニコンサート 出演 mica



主催 ボラよね新聞
協賛 ジーエスデザイン株式会社 米沢観光物産協会 他
お問い合わせ 090-4009-2018 (伊藤)

これが聞きたい! みんなの法律座談会

二月二十六・二十七日の二日間にあたって、
専門家を交えた座談会が米沢市万世コミュニ
ティセンターで開催された。弁護士対相談者と
いう構図ではなく、同じ目線で避難と被害を考
えるのが狙い。

一般的な相談会の上よそしい緊張感を感じ
られず、終始和やかな雰囲気の中で話し合いは
進み、それぞれの疑問を解消させた。

また、「弁護士を結成する動きがあるのに原
告団がなければ私たちは何もできません」とい
う弁護士側の悩みも打ち明けられ、福島避難
者の当事者意識を揺さぶった。

参加者から「福島のこととはもうあきらめるつも
りでしたがまだ早いと思えるようになりまし
た」と前向きな感想も聞こえてきた。



今回の開催は未定
だが、実際にADR
の申請用紙に記入す
る勉強会をして、提
出してみるという目
標も掲げられ、互い
に連絡を取り合う方
法や告知の手段も議
題となった。

この座談会に関す
るお問合せは

TEL 090-4009-2018

(伊藤)

第6回支援者のつどい

二月二十二日、午
後七時より、山形
市男女共同参画セン
ター会議室において、
第六回支援者のつど
いが開催された。



このつどいは、「復
興ボランティア支援
センターやまがた」
が主催し、宮城県へ
の復興支援活動を行
う団体や県内に住む
避難者支援を行う団
体が情報交換をおこ
なう場。山形県の担
当課や避難している
方々の参加もある。

今回は、福島から避難してきた方々による団
体としては「NPO法人 元気なるう福島」
「そうま子どもサポート」、「りとる福島」が参
加された。

福島の方から「山形県民の方にもっと私たち
の窮状を知ってほしい」との声に、切実な想い
を感じる。新聞やTVで見えるものと、直接
感情がこもっている声で聞くのでは、心に響く
ものが違う。

県内で展開されている、いろいろなイベント
やこれからの課題などについて熱心な協議が
繰り広げられた。会終了後、参加した方からは
「もっと避難されている方がこういう場で現状
を訴えていくことが大切」という声が聞かれた。

(えっちゃん)

会える会える☆ 寒河江の日曜日

寒河江の日曜日

二月二十六日(日)の朝、寒河
江市の中心にあるフローラ・S A
G A Eには大勢のボランティアと
元気に遊ぶ福島っ子の姿があった。
広いフロアを駆け回ったり、山形
のボランティアが自作した魚釣り
ゲームを楽しんだり、輪投げをし
たり、絵本を読んでもらったりと
子ども達は大フィーバー。そのお
隣の部屋では福島ママ達がゆった
りとしたティータイムを持ち、お
互いの話に耳を傾けていた。この
ママフェイイベントの主催団体で
ある日曜奉仕団の代表、早坂さん
は、これからもどんどんこういっ
た機会を増やしていく、と語る。

(Hiroty)



特派 山形日報 避難ママのつぶやき

3. 1.1.
この数字は一生頭の中から離れないで
しょう。

あの日、午前中に新しくオープンした
駅前のカフェで息子と二人でケーキを食
べながら、「あーやっとうとうお店に
二人で来れるようになったんだなあ」と
感動しながら帰宅をし、眠そうにして
いた息子をソファに寝かしつけ知人に電話
を・・・という時に緊急地震速報。

すぐに息子の所に行き抱きしめた途端
の揺れ。長い長い揺れ。

「何これ〜!」と叫ぶことしか出来な
い自分。たまたま夜勤明けで寝ていたバ
バが飛び起きて、窓を開けたり家具類を
抑えたりしてくれていた。

少し落ち着いてから実家の様子を見よ
うと車で走り出したら、混み混みの旧四
号線。渋滞の理由はすぐ分かったけれど、
現実の世界とは思えない光景にただただ
言葉を失った。

あれから一年。

早いのか遅いのか分からない。

ただ、まだまだ「終わっていない」と
いうことは分かっている。

地震の備えをしつつ情報を集めなが
ら、自分で判断して行動すると思う気持
ちを忘れずにいようと改めて思う。

(あやっぺ)

あすすめ情報

■子どものために知ることから始める『卒原発』を広める講演会～私たちは原発からの卒業を呼びかけます～

只今、避難されている方々に無料券を配布しております。
復興ボランティア支援センターやまがた又は山形市避難者交流支援センターにてお受け取り下さい。
『卒原発・再生可能エネルギー中心の社会へ』講師 和田 武 氏
日時：3月11日(日) 開会：13：30～16：00
会場：山形市民会館小ホール 資料代：300円
[問合せ]「卒原発」を広める講演会実行委員会
事務局連絡先 山形県生活協同組合連合会
TEL：023-686-6261

■ KIBITaKI 2012 ～福幸 311「復興」から「福幸」へ～

東日本大震災から1年。ふるさとに思いを馳せる被災者と、すべての人々に。心の復興に向けて、元気いっぱい時間をみんなと共に過ごすイベントを、東根のスノーパークで開催します。
鎮魂の思いを抱きながら、“3.11”、未来に向けて、暑い活気を。
日時：平成24年3月11日(日) 11：00～16：00
会場：黒伏高原スノーパーク JANGLE JUNGLE
〒999-3723 山形県東根市観音寺水無山 (0237-41-5555)
収容人員：1500人 入場料：無料

内容：1. 体験型イベント

- ・イグルー制作とペイント
- ・ジブフィー ・犬ぞり体験 ・餅まき
- ・ろうそく作り ・かんじき体験他
- 2. ゲスト
- ・大場満郎(冒険家)・ハタミ太鼓他

[主催・問合せ]

KIBITaKI 2012実行委員会 担当：齋藤
〒999-3722 東根市大字泉郷甲808(株) あらえびす内
TEL 080-1976-6324



■ 天童市避難者交流サロン

韓国料理教室 チヂミをつくってみませんか

日時：3月22日(木) 11：00～ ※3月10日(土) 〆切
場所：天童市総合福祉センター
対象：天童市にて避難生活をされている方々
参加費：1,200円(材料費他)
持ち物：エプロン
[問合せ・申込み]
天童市避難者交流サロン(火・水・金 開館時間：10時～15時)
TEL 023-654-1111 内線621(佐藤)

[置賜地域]

■ 東日本大震災復興祈念事業 米沢会場

「元気、希望。～復興は、まだ始まったばかりだ～」

未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」。あの日から1年を迎えます。多くの犠牲者を追悼するとともに、被災地・被災者の復興をお祈りする事業を実施します。

開催日：平成24年3月11日(日)

会場・時間：

○交流イベント 伝国の杜周辺エリア 11：00～16：00
(交流イベント内容)

- ・震災ボランティア活動などの写真展示
- ・チャリティーバザー+復興募金
- ・お楽しみ交流会
- ・浜焼きをはじめ美味しいものコーナー
- ・HAPPY 愛 LAND(避難者合唱団)と米沢の合唱団有志による

コーラス ※託児所完備(事前申込必要・定員20名)

[託児申込先]置賜総合支庁総務課 TEL 0238-26-6007

○復興祈念式典 伝国の杜置賜文化ホール

14：00～15：30(開場13：30)

式典には人数の制限がありますので事前のお申込みが必要です。
託児、及び式典参加の受付は、3/9(金)午前まで賜ります。

[式典申込先]置賜総合支庁総務課 TEL 0238-26-6007

主催：東日本大震災復興祈念事業(米沢会場)実行委員会

[問合せ]ボランティア山形(担当/丸山)

TEL 090-2974-8702

[庄内地域]

■ 東日本大震災 追悼と交流の集い 鶴岡

3.11、鶴岡市でも、多くの犠牲者に対して哀悼の意を表し、また、様々な思いをゆつくりと語り合う交流の場を開催いたします。

日時：3月11日(日) 14：30～(17時終了予定)

場所：鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま(鶴岡市ほなみ町3-2)

参加費：無料

[問合せ・申込み]鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL 0235-24-0053

■ おおきなキャンパスにみんなでたくさん絵を描こうっ！

門英彦さん(絵描き)、amadoriさん(シンガーソングライター)が遊びに来てくれます。素敵な絵と音楽と一緒に、みんなも好きな絵を自由に思いっきり描いてみませんか? Keep Smiling! たくさん楽しんで笑顔いっぱいになあれ!

日時：3月31日(土) 13：45 受付

14：00 ワークショップ開始～16：00終了予定

場所：万世コミュニティーセンター 多目的ホール

(米沢市八幡原5-4149-9)

会費：一家族 200円(当日集めます)

持ち物：上履き・クレヨン(1本ずつ記名をお願いします)

※汚れても良い服装で参加をお願いします。

対象：赤ちゃんから小学生まで。親子みんなで楽しめます。

[主催・申込み]子育てサロン「ももりん」

米沢市すこやかセンター(米沢市西大通1-5-60)にて毎週火・

木曜日 10:15～12:00の時間に活動しています。

こちらで直接申し込んで頂くか、mamas.link2011@gmail.com まで名前・年齢・連絡先をお書きの上お申し込み下さい。

詳しくはこちらをご覧ください。→

(3月22日(木) 〆切)



[寄付をご検討のみなさまへ支援のお願い]

■ 福島と山形をむすぶ「無料週末移動支援バス」運行のための寄付金を募集しています。現在継続運行が厳しい状態です。ご支援をいただける場合は、下記までご一報ください。

山形ボランティア隊本田 TEL 090-3756-9755

みなさまからの情報をあ寄せ下さい!



避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。送ってくださる場合は、「復興ボランティア支援センターやまがた」まで。お待ちしております!(最終ページにセンターの問い合わせ先があります)

[村山地域]

■ 創造性を育もう！からだを動かして遊ぼう！

被災・避難者支援「幼児体育ランド」

お子様を体育ランドでお預かりします。その間、希望により、保護者の皆様はお買い物に行ったり好きなことをしたり、自由にお過ごしください。

対象：年少児～年長児（被災・避難されている方に限る）

費用：無料 保育時間：9：00～12：00

持ち物：タオル・着替え・水筒（飲み物）

開催日：3月7日、12日、14日、19日（1日定員15名）

託児：開催時間中、外出されたい方は託児希望の旨伝えて下さい

内容：1. 体育教室 2. 積木教室

申込み：事前にクラブハウスに来ていただき、入会申込書に記入し登録してください。その後電話やメールにて事前申し込みが可能となります。（先着順）

[主催・問合せ]NPO 法人生涯スポーツ振興会APLS（アプルス）

山形市南二番町8-3 TEL 023-631-1147 FAX 023-631-1214

E-mail master@apls.gr.jp

■ 先輩ママの家庭訪問ボランティア養成講座 ～家庭を訪問し

ママの話し相手、外出の付き添いなどのボランティア～

避難している方同士の支え合いのための講座を受講して活動してみませんか。子育てにひと段落した方、みなさんの手助けをしたと考えている方、ぜひご参加ください。

◆日時：3/8、3/13、3/15、3/19、3/21 10：00～15：30

会場：山形市総合福祉センター、山形市男女共同参画センター（山形市城西町2丁目2-22）

詳細は下記あてお問い合わせください。

[申込み・問合せ]特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド TEL：023-673-9336 E-mail：info@ikuji-land.jp

■ ひなまつり☆だがしや楽校

in 山形市避難者交流支援センター

日時：3月10日（土）10：00～14：00

会場：山形市総合スポーツセンター 第2体育館（山形市落合町1番地）

当日のメニュー：（参加費無料・申込み不要）

- ・だがしや楽校コンサート（10：00～10：30）
- ・楽描き ・パステル ・ブーメラン ・スライム
- ・クッキーのデコレーション ・ころっばち
- ・松ぼっくりのデコレーション ・輪投げ その他りもりたくさん！

大人も子どももみんな自由に誰でも参加できます

[問合せ]山形市避難者交流支援センター

TEL 023-625-2185

■ 自分で自分の体と心を守ろう！

凛とした女性になるレクチャーと実技

日時：平成24年3月11日（日）9：30～12：30

会場：遊学館 2階 山形県男女共同参画センター チェリア 2階 学習室（山形市緑町1丁目2-36）

内容：暴力に合わないための知識、意識、技術を学びます。

人と適切な境界線を築くこと、自分の心と体は自分のものという思いを強め、侵害されないよう簡単な護身術をします。

動きやすい服装でお越しください。

参加費：1000円（茶菓子・資料代）

対象：関心のある一般女性、チェリア塾卒業生

☆山形県内で避難生活をされている方も、ぜひご参加ください。

[主催・問合せ・申込み]

エンパワメント山形 TEL 090-3980-5602（今野）

ブログ <http://empowerment-y.blogspot.com/>

■ 東日本大震災 一周忌慰霊並びに復興祈願法要

開催趣旨：東日本大震災一周忌に当たり、犠牲となった方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々及び被災地の一日も早い復興を祈願するものです。参加は無料です。

日時：平成24年3月10日（土）10：30～12：00

場所：圓應寺（エンノウジ）[山形市宮町4丁目16-33]

参加対象：・管内寺院住職・檀信徒や地域住民の方

・県内に避難されている被災者の方とその関係者（宗派は問いません）

内容：僧侶による読経（法要・祈願）、御詠歌の奉呈及び法話

※被災者の方及びその関係者の方は、費用等一切不要です。

※上記以外の方には義援金のご協力をお願いいたします。頂いた義援金は、全額日本赤十字社へ寄進させていただきます。

[問合せ] 023-622-3937（夜は8時までにお問い合わせください）

■ 3.11東日本大震災 追悼・復興祈念行事

東日本大震災から1年目となる3月11日（日）に、避難者の方々と県民と一緒に参加し、犠牲者への追悼と東北の復興に向けた決意を新たにす機会とするため次の行事を開催します。

日時：平成24年3月11日（日）13:00～ 追悼式は14:30～

場所：山形市役所前（追悼式）、文翔館（旧県庁）前広場（交流・支援のつどい）

内容：○追悼式 ・黙祷（14:46）、「千年和鐘」の打鐘等

○交流・支援のつどい

・NPO、ボランティア団体等による自主企画展示

・コンサート「室内楽の夕べ」（15:00～17:00）文翔館議場ホール

※ 託児あり（要事前申込み）

・避難者健康相談 ・玉こんにゃく、県産品等の無償提供

・被災地支援グッズ等の販売 ・キャンドルナイト

[問合せ]山形県村山総合支庁総務企画部総務課

TEL 023-621-8115・823

■ シネマエール東北 東北に映画を届けよう！プロジェクト 震災復興避難者交流支援 山形市上映会

☆上映作品「男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け」

☆入場無料（事前申込は不要です）

日時：3月26日（月）午後2時から（開場は30分前からです）

会場：山形市総合福祉センター 2F 交流ホール

主催：シネマエール東北

[問合せ]山形県映画センター TEL 023-641-0343

（シネマエール東北 福島山形担当事務所）

うるかむは県内各地で設置しています

山形県各総合支庁・市町村窓口/山形市内の公民館・コミュニティセンター（9施設）/復興ボランティア支援センターやまがた/山形市避難者交流支援センター/米沢市避難者交流センターおいで/東根市タントクルセンター/山形市市民活動支援センター/山形市体育文化センター/読売センター神町/元気玉プロジェクト推進本部（福島県会津若松市）/生活協同組合共立社（CO-OP）（山形県内）/山形市総合福祉センター/山形テルサ ★避難されている方へ個別郵送して下さる市町村が増えてきました。ありがとうございます！



みんなの声

女性のための電話相談・ふくしま

東日本大震災以降、長引く避難生活や低線量被ばくの影響によるストレスを抱え込んでいませんか？
家族のこと、仕事のこと、近所づきあいのことなど、日常生活で抱える不安について、まずはお話ししてみてください。

☆ 0120-207-440 ☆

相談時間 月～金（祝日を除く）10：00～17：00
（全国フリーダイヤル：携帯電話も通話無料）

- ◎相談は無料です ◎秘密厳守
 - ◎福島県民のための電話相談です（福島県から県外へ避難している方も対象となります）
 - ◎女性の相談員が対応します。
 - ◎相談の内容によって、専門の相談機関におつなぎします。
- [主催]内閣府 [共催]福島県

●今後、支援して頂いた人達に何かあった場合は、恩返しは必ずしたいと心から思います（二本松市 パパ）

●アパートのお隣のお父さん（近所にお住まいらしい）が除雪機を持ってきて車の回りの雪かきをしてくれたのです！ 本当に助かりました。（福島市 避難ママ）

「みんなの法律座談会の感想から」

●負ける裁判しても意味ないかもと思っていました。立法化していくという話にそういう道もあるのかと思いました。

●福島を放棄して逃げてきた負い目を感じていました。自主避難は国から認められていないので請求できることなどないと思っていました。このような会に前向きになれました。

リレー応援エッセイ 震災から

一年…

大震災&大津波+原発事故から一年間でいろんなことが変わってしまった。これから変わることもある。変える努力をしなければならぬこともある。

避難中でも子どもは育ち、学ばなくてはならない。子育て真っ最中の大人にとって健全で十分な環境を与えることができない悩みもある。でも「親がなくても子は育つ」という言葉にもあるように、なんだかんだ言って子はたくましく毎日を過ごす。

米沢には雪菜という雪の下でもすくすくと成長する特有の在来野菜がある。雪に閉ざされた真冬でも新鮮な野菜を食べるために江戸時代から栽培されている大地の恵みだ。春の芽吹きを待たなくてもできることはある。育つ子どもがいる。大人が負けるわけにいかない。着々と出来ることから少しずつ、歩むことを止めなければ何かが変わっていく。

避難生活の終わりの形がどうなるのかさっぱり見えてこない。終わりの形を決めるのは政府でも支援者でもなく避難者自身であって欲しい。（伊藤 範）

ひと休み コーヒーゼリーの红柿添え

上山市の在来作物、红柿をトッピングに使用したゼリーです！

【材料】

- ・インスタントコーヒー 大4
- ・水 3カップ
- ・砂糖 80g
- ・ゼラチン 15g
- ・水 100cc
- ・干し柿 適宜
- ・生クリーム 適宜

【作り方】

- ① ゼラチンは水にふやかしておく
- ② 鍋に水と砂糖を入れ、インスタントコーヒーを加え火を止め、あら熱が取れたらゼラチンを加えて溶かす。
- ③ 器に流し入れ、生クリームをかけ、刻んだ干し柿を添える



レシピ提供者：映画「よみがえりのレシピ」製作委員会 鈴木淳子さん

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

●長かった一年、いろいろありました。例年になく厳しい冬もそろそろ終わりを迎えますね。暖かくなったら、何から始めようかな…。(海谷)

●誕生日が来て、人知れず四十四歳になるつもりが、ピョンシーズに盛大に祝われてしまいました。しかも連日。すごく気恥ずかしいです。でも、いつかみんなが福島に帰る日が来たとしても、ずっと忘れない思い出になると思います。(Thropy)

●今号をもってうるかむを引退します。拙文乱文失礼しました。季節は雪融け、春へとまっしぐら、私も次のステージへまっしぐら。苦しさも辛さも愛しくなるまでまっしぐら。またどこかでお会いしましょう。

(伊藤 範)

今までありがとうございました



情報提供、活動協力などお待ちしています



避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つなごろう！ささえあおう！
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>